

平成 25 年 3 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
 代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

ヘルスケア・インフラファンド第 2 号案件へのノンリコースローンの提供について

当行は、高齢者介護・福祉などのヘルスケア施設の証券化による資金調達環境整備にむけて、上光証券株式会社(北海道札幌市、代表取締役社長 松浦良一)、野畑証券株式会社(愛知県岡崎市、代表取締役社長 野畑裕司)などが平成 25 年 3 月 27 日付けで組成した「特定目的会社ヘルスケア・インフラファンド秋田」(以下、「ヘルスケア・インフラファンド秋田」)に対して、同ファンドが運用対象資産とする有料老人ホームを取得するにあたり、同ファンドの特定社債を引き受ける形で 5 億 7 千万円のノンリコースローンを提供いたしました。

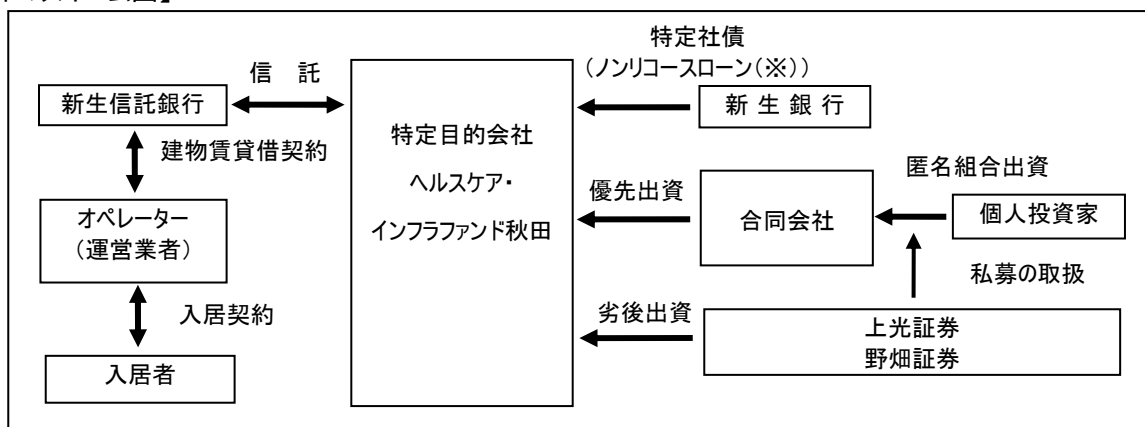
「ヘルスケア・インフラファンド秋田」は、平成 24 年 12 月より当行が取り組みを開始した、個人投資家を対象としたヘルスケア施設向け不動産私募ファンドの第 2 号案件となるもので、大手オペレーター(運業者)の株式会社さわやか倶楽部(福岡県北九州市、代表取締役 内山文治)が運営する秋田県内の介護付き有料老人ホーム「さわやか桜式番館」(居室数 92 室)1 棟を運用対象資産とし、不動産証券化の手法により、私募方式にて証券会社を通じて個人から広く資金を募ります。当行は同ファンドに対する融資を行うほか、新生信託銀行株式会社が不動産信託受託者に就任するなど、当行グループの幅広い機能の提供により同ファンドの運営をサポートいたします。

ヘルスケア施設向け不動産私募ファンドは、対象施設のオペレーター(運業者)から支払われる長期の固定賃料を原資に個人投資家に対して配当を支払うため、オフィスビルなど他の不動産を対象資産とする証券化商品と比較して、比較的安定した収益を期待したい個人投資家のニーズに対応できる可能性がある商品だと、当行では考えております。このため、将来的にはヘルスケア REIT(Real Estate Investment Trust)の組成も視野に入れ、ヘルスケア施設向け不動産私募ファンドのシリーズによる展開に積極的に取り組んでまいります。

【ノンリコースローンの概要】

借入人 : 特定目的会社ヘルスケア・インフラファンド秋田
 貸付人 : 株式会社新生銀行
 融資額 : 特定社債 5 億 7 千万円(ノンリコースローン)

【ファンドのスキーム図】



(※) ノンリコースローン

特定の事業・資産(不動産が典型的だがそれに限らない)から発生するキャッシュフローのみを返済原資とし、スポンサーなどへの返済を求めることはできない非遡及型ローン。責任財産限定ローンとも呼ばれる。

以上

お問い合わせ先
新生銀行 IR・広報部
大高、江口
Tel. 03-6880-8303